

発言議員	議案件名	要旨	答弁者
	3. 団塊世代への対応について ① 退職者数及び退職金 ② 市の財政にあたる影響（歳入・歳出にあたる影響は） ③ 欠員の補充は ④ 人材の活用及び育成		③ 総務部長
1番 小野幸夫議員	1. 朝ごはん条例の制定で、こどもを早起にし、元気なからだの育成を 2. 地域防災計画について 3. 麻しん（はしか）と風しんの予防接種の2回接種について		① 教育次長 ② 総務部長 ③ 市民福祉部長
13番 蜂須直巳議員	1. 地域安全対策の推進（防犯パトロールの強化）について 昨年来、子供達が被害者となる犯罪が相次ぎ、大きな社会問題となっており、今日、各自治体や地域で「防犯パトロール隊」などが組織され、活動が開始されている様です。今議会に提案された施策の概要の中にも同様の取り組みが提案されておりますが、市民や関係者の関心も高い問題でもあります。 地域からはより多くの方の参加体制づくり、統一した資機材（腕章、帽子、ベスト等）を望む声もあります。 ・ 自主防犯意識の底上げ策をどの様に考えているのか 自主防犯グループ（町内会、老人会（福寿会）、趣味のグループ、近所の仲間）等の募集と組織化と「まとめ役」リーダーの育成は。 ・ 必要資機材の調達については、ある一定範囲については行政サイドが準備する必要もあると考えるが、埼玉県防犯のまちづくり支援事業補助金の利用とか ・ 防犯に関する講習会の開催 具体的にどの様な形態を考えているのか。 2. 市町村合併問題について 2月17日付の新聞報道で「さいたま市」を除く70市町村を11に統合との県の合併推進審議会の提案が報道されたが、これをどの様に受け止めているのか。県からはどの様な話があるのか。今後の県からの指導の見通しは。当市が考える（考えられる）合併構想は、今後どの位の時間を掛けて整理して行くのか。 3. 震度情報と地震計の設置場所について 地震に対する住民の関心度が高まる中で、小・中規模の地震発生時、震度情報がテレビのテロップで流れるが、近隣の市、町は結構早い段階で名前が出ているが、当羽生市の情報が出ないという声が多い。マスコミの選択の結果かも知れないが、市民の目には、羽生市には震度計が設置してあるのかという声さえある。 当市の震度計はどこに設置してあるのか。設置してある震度計はどの様な回線に接続されているのか。震度計と連動し、自動放送される多機能設備が多くなっていると聞くが、当市の場合、必要に応じて庁外放送（防災放送）に連動するのか。		② 総務部長 ① 助 役 総務部長

【3月13日】

発言議員	議案件名	要旨	答弁者
14番 落合信夫議員	1. 市内循環バスの存続について あまりにも早急な決断であり、市民は納得できないもの。他市町の動向は推進であり、逆行も甚だしいもの。廃止方針を撤回せよ。 2. 乳幼児医療費等窓口払いの廃止について 県内でも廃止の市町が増加している少子化対策として取り組むこと。 3. 東武伊勢崎線ダイヤ改正について 4. 岩瀬土地区画整理事業の動向について 1年間の見直しの結果と対応について 5. 「イオン」の出店問題について 郊外への大型スーパー出店は原則禁止する法案が今国会に上程される情勢の中で、かけ込み的となる本市への出店は十分に検討されてしかるべきと考える。		① 市民福祉部長 市民福祉部長 ② 企画財政部長 ③ 都市整備部長 企画財政部長